

■新島襄 キリスト教伝道家、教育家。アメリカで信者となって維新後に帰国、(同志社)と日本組合教会の基礎を確立。

にいじまじょう

順天堂始・1843= 江戸神田の上州安中藩邸で、祐筆職の長男に生まれる。

阿部正弘首座1845= 2歳 :

万次郎帰国・1852= 9歳 :

ペリー来航・1853=10歳 :

松下村塾・1856=13歳 : 藩中の子弟から選抜されて、田島順輔ついで手塚律蔵に蘭学を学び、

蕃書調所・1857=14歳 : 元服して祐筆補佐役ついで御供徒士となる。

桜田門外変・1860=17歳 : 江戸築地の軍艦操練所に入り、

遣欧使節・1861=18歳 :

生麦事件・1862=19歳 : かたわら甲賀源吾の塾で兵学修業、測量算数を学ぶ。洋型帆船での航海実習に加わり、

8月18日政変 1863=20歳 : 英学に切り替えて、聖書その他の文献に接するうち、アメリカの政治社会とキリスト教に強く惹かれ、

禁門の変・1864=21歳 : 箱館の塾での航海実習に出ると、現地で日本語・英語の交換教授を行った後、脱出密航し、

薩摩藩士密航1865=22歳 : ボストンに到着。船主で会衆派信徒ハーディ夫妻の世話で、フィリップス=アカデミーに入学、

薩長同盟・1866=23歳 : アンドーバー神学校付属の教会で受洗。

大政奉還・1867=24歳 : アマースト大学に入学、

明治維新・1868=25歳 :

初の日刊新聞1870=27歳 : 卒業。日本人として初めて学士号(B.S)を得、ついでアンドーバー神学校に進む。

廢藩置県・1871=28歳 : 新政府の弁官から“米国留学”の免許を受け、

学問のすすめ1872=29歳 : 訪米した岩倉遣外使節団に同行して欧米の教育事情を視察、記録編集にも尽力し、

明治6年政変 1873=30歳 :

佐賀の乱・1874=31歳 : *特別コースを卒業。ボストンの教会で按手札を受けて牧師となり、アメリカン・ボードから宣教師として日本伝道の任命を受け、その年会で、日本にキリスト教主義大学を設立することを訴え、支持得て帰国。

初の民間工場1875=32歳 : *京都府顧問山本覚馬、ボード宣教師J.D.デービスの協力で官許同志社英学校を京都に設立。

三つの反乱・1876=33歳 : デービスの司式で山本の娘と結婚。京都にキリスト公会を設立し、熊本バンドの入学で、同志社教育と日本組合教会の基礎は確立した。

西南戦争・1877=34歳 : 同志社女学校を開校。同志社がキリスト教主義教育を唱える私学であったため、彼は政府、京都府庁のさまざまな圧迫をうけ、また伝道者養成のみを意図するボードとの対立に苦慮。

大久保暗殺・1878=35歳 : *同志と日本基督教伝道会社設立。生地に上州安中教会設立、組合教会の関東における拠点となる。

琉球処分・1879=36歳 :

明治14年政変1881=38歳 :

新体詩抄・1882=39歳 : アメリカ時代以来の構想を「同志社大学設立之主意之骨案」としてまとめ、

岩倉具視没・1883=40歳 : 「同志社大学設立旨趣」を発表。

秩父事件・1884=41歳 : 欧米を巡歴して教育と伝道の方針を固めて、

内閣発足・1885=42歳 : 帰国。

帝国大学始・1886=43歳 : この年から提唱された一致教会と組合教会の合同については、時期尚早を主張して反対、

国民之友始・1887=44歳 : 仙台に東華学校を開校し、京都に同志社病院・京都看護婦学校を開き、

初の対等条約1888=45歳 : 「同志社大学設立の旨意」を全国に公表するなど、同志社大学設立に奔走したが、

帝国憲法発布1889=46歳 : 母校アマースト大学から名誉学位を授与されてまもなく、

帝国議会始・1890=47歳 : 大磯で病没した。